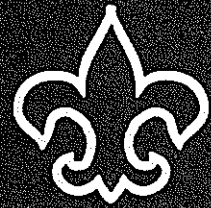


REINANZAKA  
SCOUT CLUB



スカウトOB・OGの情報交換や交流の場 / 1999年2月6日発行

霊南坂スカウトクラブ会報

霊南坂BS・GSスカウト：霊南坂教会内 105 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403

# 霊南坂スカウトクラブ 総会の開催 2月21日 霊南坂教会

## ——盲導犬ベルナのお話——

日時：2月21日（日）13：00～14：00

来る2月21日（日）霊南坂スカウトクラブの総会が開催されます。

同日はスカウト・サンデーともなっており、現役スカウトが参加する礼拝も行われますので、OB・OGの方々も是非ご出席ください。

総会は、礼拝後に行われるスカウトクラブ主催のイベント終了後に開催しています。

過去のイベントは、女性登山家の田部井氏による講演会や珍しい楽器であるチターを中心にした音楽会など、現役スカウトにとっても楽しいイベントとなるようなものを開催するようになっています。

今回のイベントは盲導犬についてです。また、総会では前年の活動報告の他、現役リーダーよりの報告（BS各隊別、GS各団別）や、スカウトクラブのOB・OGの方々への要望あるいは希望などを披露する場でもあります。

旧交を温めるのもよし、楽しい企画などの提案も大歓迎です。

次年度の活動についてご意見やご希望などを幹事にお聞かせください。

井上登志子さん



郡司ななえさん

講師の郡司ななえ氏は、既に130回以上もの講演を、小学校、中学校、大学、病院、老人ホーム、企業などで行っています。

同氏は27歳で ページェット病により失明。その後結婚されて全盲のご主人と共に子供を生んで育てたいと思いました。

そのためには盲導犬と共に生きることが必要なのですが幼児期に

犬に噛みつかれた経験から、大の犬嫌いになっていました。

その犬嫌いを克服してご子息を育てられました。盲導犬との心を通わせた感動のお話と盲導犬への理解を呼び掛けられます。

是非ご一緒にお話を伺ってみましょう。3代目の盲導犬ペリラちゃんも同行します。

# 海外会員からの便り

井上 登志子

霊南坂スカウトの皆様、お元気で過ごしのことと思います。皆様になつかしくお目にかかった50周年記念の日から、もう1年半もたつ事になります。

ロックフェラーセンターのクリスマスツリーにも灯がともされて、ニューヨークはすっかりクリスマスのためのドレスアップがすみました。

32階にある私のオフィスから見えるエンパイアーステートビルも赤と緑のクリスマスカラーに彩られて、ビルがサンタクロースの帽子を被ったように見えます。

ニューヨークでのクリスマスも今年で22回目になります。1976年6月パンアメリカン機に羽田から乗り込む時はこんなに長い

田から乗り込む時はこんなに長い

間こちらに住むつもりはありませんでした。14時間後にケネディ・エアポートに降りた時も、出迎えの人が足元のスーツケースを指して「これだけ？」って聞かれたものでした。

それ以来22年、自分の歳を考えると短かったような気がしますが、自分の歳を考えると随分長いこと、こちらに居るように思います。

1時間が1日に、1日が1週間、1ヶ月、1年とめぐっていく月日の中で、時どきフーッと深呼吸をしながら生きてきたように思います。

今の仕事は「Jobはイヤ、Profes-

sionかCarrierが欲しい」と思って、1981年に始めたのですが、その当時に比べると業界も会社も商品も、そして規則や法も随分と変わって来ています。

仕事の範囲は広がる一方、それに伴って資格審査も試験も含めて難しく厳しくなって来ています。

18年前にはお客様に投資信託をお世話するなど私にとっては別の世界の話でしたのに…

今はビジネスの3分の1は投資信託、他の3分の2もインベストメントに関係あるものになっています。

お仕事柄、比較的時間を自由に使えることとGSUSA(米国GS)からの要請もあって1982年から3年間、GSUSAの理事会委員としてプログラム委員に席を置かせていただきました。

【4頁に続く】

今年度のメイン・イベント

## 東京湾ランチクルーズに寄せて



関口 敦夫

昨年の11月3日文化の日に東京湾のランチクルーズに23名の参加者を迎え2時間余りの短い船

旅を楽しんだ。

【4頁に続く】

# 海外会員から便り

安積 発也

1998年は安積家にとっては新しい人生のページを開く、記念すべき年でした。

まず、娘の恵美(18歳)メリーランド州モントゴメリー区の公立高校を卒業し、フィラデルフィアにあるドレクセル大学に進学しました。

どちらかというとい理工系の大学で、恵美はここでバイオロジカル・サイエンスとコンピュータ技術を専門に学んでいます。

永年やってきたフィギュア・スケートは大学の授業時間とアイス・タイムの調整が難しく、この辺で諦めざるを得ないかもしれません。

三回転ジャンプまで来て、ちょっと残念ですが、勉強は大切で、まっ仕方ないでしょう。

妻ナディアは更年期にさしかかったせいでしょうか、アチコチ身体の故障を訴えますが、口で云うよりはずっと元気で、相変わらず30人程のお弟子さんに木目込み人形を教えています。

しかし、最近これに加えてインターネットを通じての通信教育を始め次々にお弟子さんが出ています。ちなみに、彼女のWebsite Addressは<http://www.Thedollnet.com>です。

小生は昨年9月8日を最後に合

計16年勤務した世界銀行を退職しました。

UNDPを9年、ADBを6年を加えると、総計31年国際機関に勤めた事になります。正に国際機関ゴロですね。

しかし、その間ずっと年金を引き継いで来たので、年齢と勤続年数を合わせて一定の年次に達すると定年を待たずに年金がフルにもらえる制度があり、更に又、第二の人生はまだ元気な時から始めたいと思い、早期引退にふみきりました。

これからは(1)企業戦略、マネージメント一般、そして天然資源、環境問題の分野で国際開発コンサルタント、(2)研究・著述、(3)うんと人生を楽しむ、といった三拍子の人生を送りたいと考えています。

一番不確定なのは(1)のコンサルタント家業。一体、仕事の口がかかるだろうか、今迄は世銀・アジア銀・UNDPといった看板を後ろにしょっていたわけですが、これからは一匹狼として、どれだけ世界に通用する仕事出来るか、自分のマーケット・バリューはどれ位かと気になる処です。

しかし、案ずるより産むが易し退職した翌日から仕事の依頼があり、結構忙しく世界を飛び廻る生

活はまだ続いています。しかし、その間九州の水俣市を訪ね資料を集めたり、自分の研究(上記2)もボチボチやっています。

現在の処、課題は(3)の「うんと人生を楽しむ」という点で、まずは(1)と(2)に目処がたつまでとってしまう余裕のなさのなせるわざでしょうか。ただ新しいスキー用具は揃えました。

皆それぞれに忙しい年でしたが、8月は世銀で最後のホーム・リーブという事で、一家三人そろって日本(東京、広島、東北)、バンコック、イタリア(ベニスとジェノア)を楽しみ、その後ナディアと恵美はエジプトとロンドンに行きました。

ネナディアの両親は、現在エジプトのアレキサンドリア在住ですが、やっとそこを引揚げて、そろそろワシントンに来てくれる決心をしてくれました。ヴィザの事とか、色々な問題はあるのですが、現在我々の家を改造中、すべてうまくいく事を祈っています。

日本に行っても感じる事は、国全体委縮してしまっているのではないかという事です。経済危機の底の深さは並々ならぬものがあり、抜本的な意識革命が必要ですが、日本人の教育程度の高さ、又勤勉精神を考えれば、危機を機会に置き換えることは絶対に可能だと思います。よい新年を!

ガールスカウト東京都第4団主催

## Phality Concert

Peace チャリティコンサート

現在、世界は「平和」であると言えるでしょうか。毎日伝えられるニュースから、この地球のどこかで戦争が起きている現状を知っています。

平和を願う気持ちは、どの時代にも・どこの国も、そして一人一人が同じではないでしょうか。ガールスカウト活動の一つに「ピース・バック」運動があります。難民高等弁務官事務所との共同

業として難民の子供達一人一人に文房具・オモチャ・生活必需品を袋に入れて届けています。

受け取った子供の笑顔を思いうかべながら、更にこの輪が広がることを願いチャリティコンサートを計画しました。

ご家族・お友達をお誘い合わせのうえ、一時をご一緒に過ごしましょう。

1999年3月13日(土)午後6時30~8時、於：霊南坂教会礼拝堂。【出演者】歌・本多千春(GSリーダー)、演奏・東洋英和女学院高等部ハンドベル部、指揮・加藤牧菜。

第一部：ハンドベルを中心とした演奏。第二部：ハンドベルと歌のための組曲「Peace」(加藤牧菜作曲)

【チャリティについて】礼拝堂入口に募金箱を置きます。集まった募金は、ユニセフ・ガールスカウト戸隠キャンプセンター改築資金へ納めさせていただきます。

連絡先：矢澤宏子  
104-0032 中央区八丁堀3-4-7  
電話：03-3555-6375

## 【2頁より続く】

この任期の間にプログラム委員会はディジー・スカウトを発足させるイニシアティブを取るという重い役目を負いました。

いくつもの会議や討論を重ねてブラウニーの妹達をスカウトの仲間に入れてあげることができました。

この3年間のプログラム委員の経験はそれまでも多くあったスカウトとしての素晴らしい経験をより豊かにするものとなりました。

1984年3月、レーガン大統領とナンシー夫人のお招きでスカウトの仲間約100人とGSUSA70周年記念の昼食会に出席させていただき、ホワイトハウスのイーストルームでご馳走になりました。

いただいたものの味は忘れてしまいましたが大きな手で包むように握手して下さったレーガン大統領の力強い手と、細くてやわらかいナンシー夫人のしなやかな握手の感覚が今でも右手に残っているような気がします。

スカウト活動からは、こここのところ遠ざかっていますが、1ヶ月

に2回、メトロポリタン美術館のジャパニーズ・リーディング・ルームでボランティアをしています。

ブラジルから来た日系の老紳士が「こんなに日本語が話せてうれしい」と若い頃に渡ったブラジルの話、また日本の思い出話、日本語を話さない可愛い孫の話と、1時間も話し込んで行かれたことがありました。

こんな風に私のボランティアの時間が何かの役に立っていたら嬉しいと思っています。

日本の仕事もしておりますので1年に1回は帰りますが、出来ることなら帰国は年に2回したいところなのです。

いろいろなことに追いかけて思うように行かないのが現実です。

そしてスーツケース2つで幕が上がった私のニューヨークも幕が下ることがあれば、人型コンテナ1台ということになりそうです。

ただし、その日はずーっと先のように思います。

良いクリスマスと、幸せな新年をお迎えになるよう地球の反対側からお祈りしています。

話ができ、楽しい時間でした。

これからも時々このような機会を企画したいと思っております。今回は23名でしたが、スカウトクラブの会員、準会員を含めると1000名以上のクラブになります。その中にはクラブに興味の無い方や、積極的に参加する方、あるいは企画によって参加する方と、様々でしょう。

私はどちらかと言うと、敷居が高いほうでしたが、何時も思っていた事は、青春時代の多くを占めていたのがスカウトの時の仲間、先輩、リーダー、教会、等々でした。

また何時か役に立てる事があれば、飛んで行こうと思っていました。私だけでなく会員、準会員の方々も少なからずそうだと思います。

これからは皆様に参加しやすい企画を心掛けていきたいと思えます。皆様にもお願いすることが出て来ることがあると思われまので、その際にはよろしくお願い致します。

## 訂正とお詫び

1998年9月11日発行の会報において、ウィリアムズ氏逝去の記事に誤記がありましたので訂正いたします。

同会報において、ドクター・ニューウエル氏の役職につき、ウィリアムズ氏を長年治療にあっていた医師との記載がありましたが、同氏は医師ではなく、ウィリアムズ氏の教会関係での最良の友人で宗教学者（ドクターは、医師ではなく「博士号」の称号）です。ここに改めてお詫びするとともに、訂正致します。

## 意見・寄稿を募集中

会報の体裁を変更したのにもない、広く皆様のご意見や情報交換希望などを掲載していきますので、左記に送付ください。皆様と共有できる情報や役に立つような情報等をお願い致します。

## 【2頁よりの続き】

幸いにも暖かく、風も無い絶好の日よりだったので、それだけでも成功であったと思います。

いつもは参加する側で、スカウト活動を離れて20年余り、久しぶりに企画する側に回り、あーだの、こーだの迷いながら、矢沢さ

んや塚田さん、古谷さんといった方々に助けられ、この企画自体も渡辺さんからいただき、自分としては何も終わってしまったと言うのが正直な気持ちです。

でも当日は、50周年の時にはゆっくりと話も出来なかったのにデッキに出て、懐かしい方々との

## 霊南坂スカウトクラブ連絡先

入会申込・問合せ等：

(郵便) 東京都港区南青山7-11-5 日下部宛  
(ファックス) 03-3400-0399 (電話) 03-3400-0331

会費・ご寄付等：

(郵便) 東京都港区虎ノ門1-19-5 杉原宛  
(ファックス) 03-3591-5210 (電話) 03-3501-3998  
振込口座番号：霊南坂スカウトクラブ  
(郵便局経由) 00160-1-615237

通信・ご希望・ご意見等：

(郵便) 東京都渋谷区恵比寿西1-33-3-303 河内宛  
(ファックス) 03-3464-8276 (電話) 040-919-2941